

LEDZARD グリルイルミネーション 取付け・取扱い説明書

LEXUS LM500h 車両専用品

この度は、Junack 製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
本書はLEDZARD グリルイルミネーションの取扱い、及び取付け作業について記載してあります。
取付け前には本書を必ずお読みいただき、正しい取付けを行って下さい。
本説明書に記載されている分解方法、イラスト(画像)、及び作業方法はあくまでも一例です。
車両ごとに脱着方法、取付け方法が異なりますのでお取付けの際はお車の整備要領書等をご確認の上
車両に適した手順で作業を行って下さい。

安全に関する表示

この説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

警告、**注意**、**注記**、**アドバイス** のところは、とくにしっかりお読み下さい。

警告	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です。
注意	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、傷害につながるおそれがある内容です。
注記	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながるおそれがある内容です。
アドバイス	この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

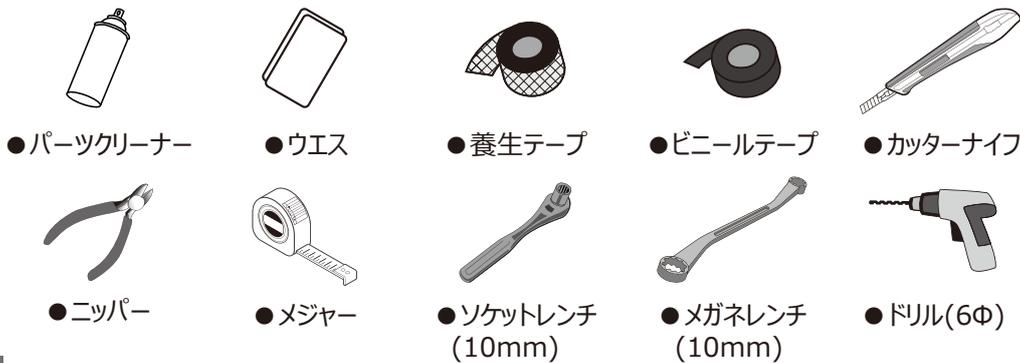
適用車種および適用年式

《車種名》 LEXUS LM500h

《年式》 2023/10 ~

《型式》 TAWH15W 型

推奨準備工具



取付け準備作業

1. 取付け作業は、安全な場所に車を駐車させ、パーキングブレーキを確実に操作して下さい。
2. 取付け作業は、必ずエンジンを停止して行って下さい。
3. 取付け作業の前に、必ずバッテリーの(-)側コードを外して下さい。また(-)側コードは(+)側コードと接触しないようにして下さい。
4. 構成部品及び部品数量が取付け説明書通りになっているか、また製品が正常に機能するかを確認して下さい。
5. オーディオ等の設定をメモしておく、後の調整がスムーズに行えます。

取扱い方法

1. 車両のイグニッションに連動してグリルイルミネーションが点灯/消灯します。

JUNACK
WWW.JUNACK.COM

最新の適合情報や
注意事項などは
弊社HP・製品ページ
にて必ずご確認ください

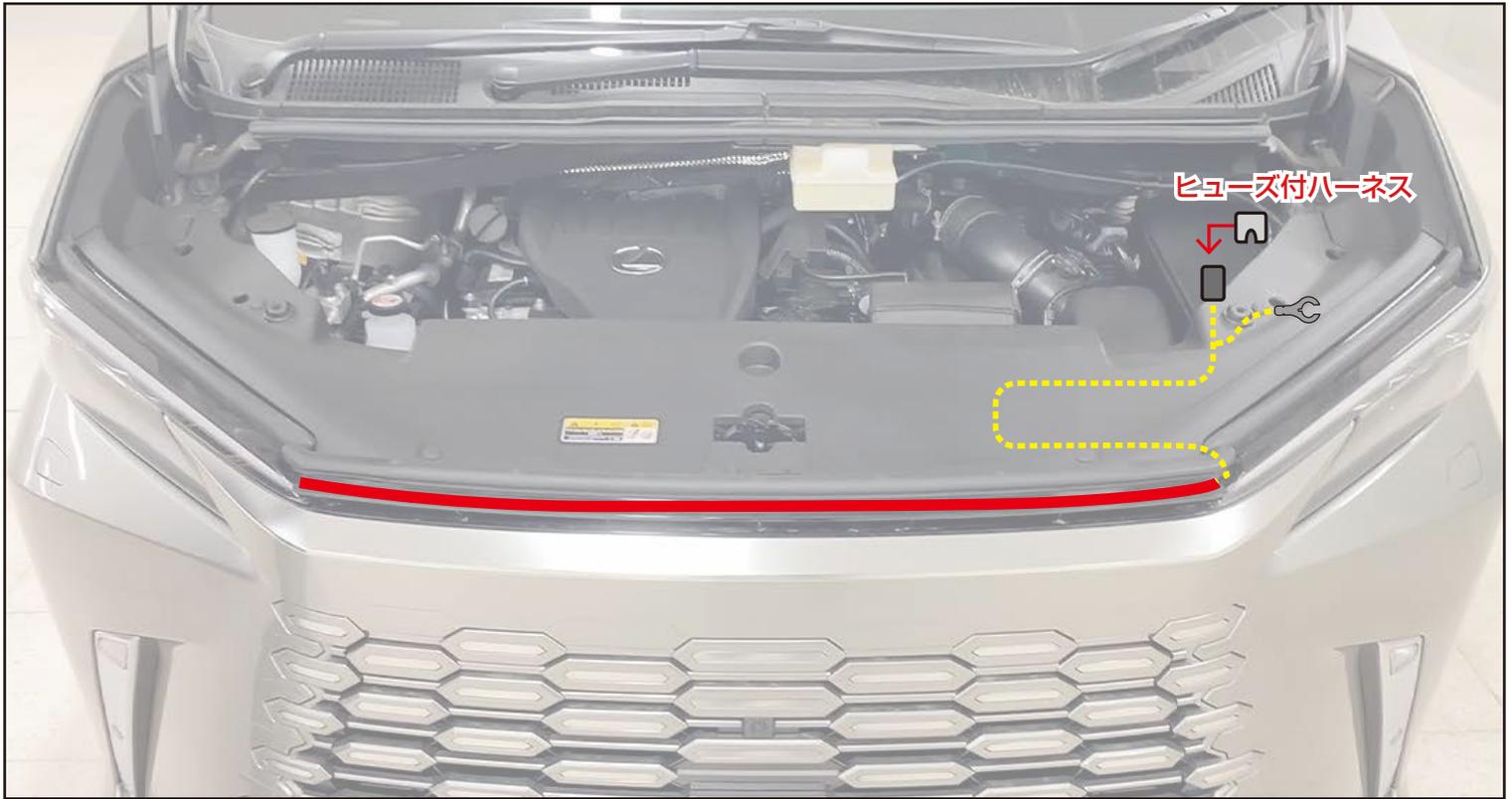


取付け動画は
こちらから



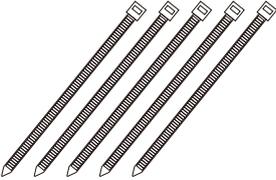
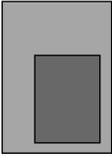
本製品は
ドレスアップを目的に
製作された
LED製品です

完成図全体像



構成部品

※部品が全てあるか確認して下さい。

		
製品本体 ×1		ヒューズ付ハーネス ×1
		
結束バンド ×5	ブチルシール ×1	保証書 ×1

⚠️ 配線の処理に関して注意

余った配線を束ねたり(結束バンド等)、発熱する場所に固定すると、配線の断線や溶解など様々な不具合の原因になります。

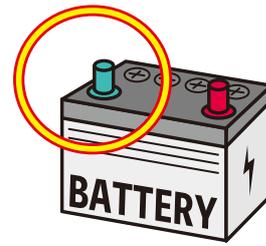
取付け手順

①バッテリー (-) ターミナルを外す

車両整備書を参考にして正しい手順で
バッテリー (-) ターミナルを外します。

画像 1

バッテリー (-) ターミナル
を外す



②エンジンルーム内のパネルを外す

画像2を参考に、黄色線で囲まれた
エンジンルームカバー（真ん中部分）を固定している
9か所のクリップを外します。

画像 2



画像 2-2



アドバイス

この時画像2-2を参考に、
外したクリップの形状を元に戻しておくと
復元時に装着しやすくなります。

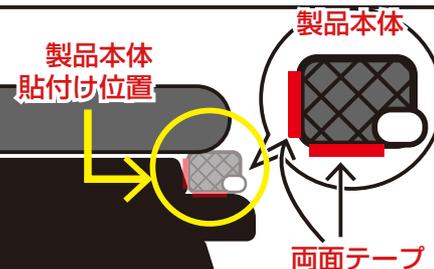
③本体貼付け箇所の脱脂

製品本体取付位置の清掃・脱脂を、
パーツクリーナー等を用いて十分に行ってください。
(画像3)

画像 3



画像 3-2



取付位置は画像3-2の
黄色丸印部分・車両断面図のイラスト
を参考にして下さい。

メッキモール

車両断面図

④本体取付け準備

画像4を参考に、本体のセンターに印を付け、ニヶ所の両面テープの剥離シートのみカッターなどで切りこみを入れ、画像4と同等に剥離シートを剥がしておきます。

注記

深く切りすぎると本体を傷つける恐れがあります。製品本体に刃が当たらないよう十分注意をしながら、剥離シートのみをカットして下さい。



⑤センター位置決めと本体の貼付け

画像5を参考に、左右バランスを見ながらセンターを決めて下さい。

画像5-2を参考に配線が付いている助手席側から剥離シートを剥がしながら手のひらで圧着させるように貼り付けて下さい。同じ要領で運転席側もしっかり圧着しながら貼り付けて下さい。

注記

脱脂が不十分の場合、本体が剥がれたり思わぬ不具合の原因になりますので、十分に脱脂を行って下さい。油分のほかに汚れや水分もきれいに除去して下さい。

本体を圧着する際は、手のひら全体を使って適正な加圧をし、1点に負荷がかからないように十分注意して下さい。指先等で1点を圧着すると不具合の原因になる可能性があります。

※本体貼付けの際に本体を**引き伸ばさないように**注意して下さい



⑥フィルムハーネスの配策

フィルムハーネス裏側の剥離フィルムを剥がし画像6の赤点線を参考に、助手席側ヘッドライトとグリルの隙間にフィルムハーネスを通します。



画像6-2赤点線を参考に、グリル内部裏側にフィルムハーネスを貼り付けて下さい。



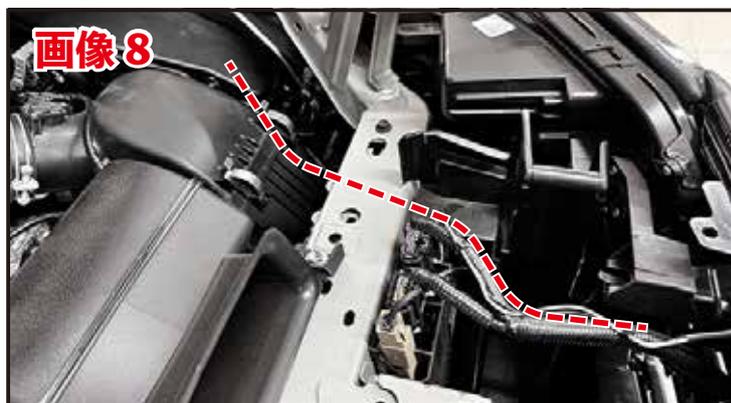
⑦ハーネスの固定

画像7を参考に、結束バンドを使用して
車両配線に沿って本体ハーネスを適宜固定します。



⑧ハーネスの配策

画像8を参考に、エンジンルーム内にハーネスを配策します。
必要に応じてコルゲートチューブ等を使用して
保護して下さい。



⑨ハーネスの配策

画像9、○印部分にある
助手席ヘッドライト裏アースポイントの10mmナットを緩め、
製品本体配線のクワガタ端子を挟み込み、
ナットを締めなおして下さい。



⑩電源取り出しハーネスの取得

画像10を参考に、
「WASHER 30Aヒューズ」から電源を取得します。

純正30Aヒューズを外して下さい。

💡アドバイス

ヒューズボックス内部に付いている
ヒューズ外しを使用すると簡単にヒューズが外せます。

画像10-2を参考に、
外した30Aヒューズを、付属のヒューズ付ハーネス下側の
空きスロットルにつけて下さい。

画像10-3を参考に、
画像を参考に配線が出る方向に注意しながら
元のWASHER30Aヒューズの所に
ヒューズ付ハーネスを装着して下さい。



画像10-2



画像10-3



⑪ヒューズボックスの穴あけ

画像11を参考に、ヒューズボックスの蓋部分に
6φの穴を空けて下さい。



⑫プラス側配線の配策

上記手順11で開けた穴から、
画像12を参考に、
製品本体のプラス側配線を入れて下さい。



⑬配線の接続

画像13を参考に、ヒューズボックス内部のヒューズ付ハーネスのギボシと引き込んだプラス側配線を接続して下さい。



画像13

⑭点灯確認

本製品を仮点灯させ、正常に動作するか確認して下さい。



画像14

⑮ヒューズボックス穴の処理

画像15  印部分を参考に、ヒューズボックスの蓋を復元した後、配線部分をしっかり覆うように付属のブチルシールで固定処理をします。



画像15

⑯配線類の処理

画像16を参考に車両配線と本体ハーネスを緩み等が出ないように、車両側配線と共に適宜固定して下さい。

注記

結束バンドで固定する際は適度な強さで固定して下さい。緩すぎたり締めすぎたりすると様々な不具合の原因になります。また、高温になる箇所やエッジの出ている部分への固定も避けて下さい。必ず安全な箇所を確認しながら作業して下さい。



画像16

⑰車両の復元

製品・車両に問題がなければ車両整備書に従って復元して下さい。貼付けた養生テープ等もキレイにはがして下さい。

最終確認を行い、すべて正常な状態であることが確認出来たら終了です。



画像17